

田植えに挑戦!



日時:平成28年6月1日 13時55分～
場所:横浜小学校



1・事前にたねもみを水につけてもらいました。

中村指導員の説明

たねもみを水につけることは、発芽させるため。芽を出してもらうよう起こす目覚まし時計の役割です。毎日水をかえてもらったのは、芽を出すには空気が必要だからです。



古土井指導員 (左) と中村指導員 (右)



2・苗箱に土を入れる

3・苗箱に入れた土に水をやる

水のやり方: じょうろの口は上向きで。雨が降るようにやさしく水をかけるため。外からまわしながら水を毎日あげましょう



4・種まき

種もみを上からばらばら撒く。

中村指導員の説明

重なると土の栄養がかたより、いい苗にならないので重ならないようにしましょう。



5・ふくど 種をまいた上に5mmくらい土をかける

中村指導員の説明

土は両手でかけます。かけすぎると布団が重いと寝にくいように苗も出にくくなるので種もみがかくれるくらいにしましょう。



～ 稲の種まき編 ～

田植えに挑戦!

NO. 2



日時:平成28年6月1日 13時55分～
場所:横浜小学校

水やり

6・水やり



中村指導員の説明
朝と昼休憩に2回やりましょう。晴れの日には2回、曇りの日は1回。
3週間後に苗の葉が3～4枚になったら田植えの合図です。



みなさんが作ったお米を秋と一緒に
食べることを楽しみにしています。
しっかりお世話をしてあげてください!

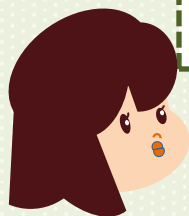
中村指導員
お茶碗一杯はお米3000粒(約150g)で
1粒の種もみから1000粒のお米ができます。
お茶碗一杯分は種もみ3粒必要です。

とても元気よく手を挙げる横浜小学校4年生のみなさん

～ 取材の感想 ～

・横浜小学校4年生のみなさんは指導員の話をよく聞いて内容や意味を理解し
上手に水やりや種まき等を行っていた。

・作業がしたい!と積極的に手をあげる生徒も多く、自分でつくることによっ
てお米に興味湧き、ご飯を食べることが増えればいいと思いました。



ご協力頂きました横浜小学校のみなさん、ありがとうございました